

白岡ニュータウン自治会

～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～

# 自治会だより



～世代超え 気持ち繋がる

ふるさとへ～

2018

新春号



高岩・子どもお囃子



元旦の高岩神社

## 新春に寄せて

自治会会長 浅井 嘉一

新年皆様には、健やかに佳き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

お陰様で自治会は創立30周年を迎えました。大きな節目であり記念すべき新年です。年の初めに創立30周年を重ねて寿ぎ、皆様でお祝いする一年にしたいと思います。

歴代の自治会役員各位、会員の皆様様が30年間、営々と築いてこられたこの街、今日ありますのは先輩諸氏ご努力の賜物なのです。いま、私たちが安全安心に暮らせるのも、その土台に支えられているからにほかなりません。特に“災害列島”ともいわれる我が国、目を覆いたくなるような被災や惨事の報道に触れると

き、災害に遭遇すること無く無事に過ごせる毎日、極めて喜ばしく幸せなことです。転勤族の私は平成3年に転入、以来こどもたちも巣立ち、老夫婦だけの日常です。訪れる孫たちの明るい笑顔に元気を貰う後期高齢者は“向こう三軒両隣の皆様に支えられ助けられて暮らす日々、新白岡は終の棲家になりました。

秋には記念事業「ふるさと祭り」も計画されています。30周年を記念し、共に祝いしようではありませんか。そして未来のために！



# 「青空市」をおえて

事業部長 大野豊治

12月3日（日）青空市がさくら公園で開催されました。この日は青空市に相応しい快晴で日向では暖かさを感じる好天に恵まりました。

多くの皆様に喜ばれておりました「餅」の販売は、ノロウイルスによる食中毒発生の報道や保健所からは調理業者や食物処理に厳しい注意事項が出されていることから役員会で慎重に討議を重ねた結果「万一でも食中毒を発生させてはならない」との結論により甘酒の提供を含め廃止を決定しました。

初の試みとして「綿菓子」の販売、「たまごくじ」と「消しゴムすくい」のゲームを取り入れました。綿菓子作り担当の方は綿が飛びちり腕にまとわりつくのも厭わず形の良

い綿菓子を作られてお子さんから大人まで喜ばれました。好評の産地直送りんごの販売は産地が台風被害のため希望する数量が確保できず一袋としました。

その他フリーマーケット、クリスマスリース作りなどが行われ多くの人で賑いました。新たなアトラクションとして地元安来節愛好会による鍋蓋おどり、どじょうすくいなどが披露され多くの方が珍しそうに見物していました。

従来とは違った青空市でしたが、多くの皆様のご理解、ご協力により無事に終了することができました。



ゴミゼロ運動参加

有難うございました  
環境部長 野々口眞由美

昨年11月12日 1254名の参加

加を頂き、秋のごみゼロ運動が開催されました。ご協力を頂きありがとうございます。この時期は枯葉が多く大通りを担当される方々には特にご苦労をおかけしています。我が家の前にも櫂があります。緑多い時期は、枝が伸びて通行の妨げにならないか、強風で倒木したらどうしよう？さつき枯葉を掃いたのになどと、煩わしさを感じることもあります。

でも、駅前通りと中央通りの櫂や学園通りの銀杏並木。公園に通じる緑道は、白岡ニュータウンの素敵な景観を生み出しています。東京都内では、オリンピックのマラソンに向け、樹木が伐採されており、地域で反対運動が起きているそうです。命ある樹木。そこに住む人々もまた、樹

木と共に生きてきた歴史があります。手入れや管理は大変なことも多いですが、ニュータウンのシンボルとも言えるこの美しい景観を維持するために、これからもご協力をよろしくお願いいたします。



歳末パトロール

保安部副部長 的場淳二

ご協力 ありがとうございます

暮れも押し迫った二日間、昼と夜三回にわたり歳末警戒パトロールを行いました。

これまででは、パトロール後にみんなでお蕎麦を食べていただきましたが、今年には衛生上の理由により中止となったため、個人的には少しさみしい気持ちもありました。それでも150人余りの方が寒い日にも関わらず参加しており、「自分の街は自分で守る」といった強い気持ちが伝わってきました。特に子どもたちが大きな声でパトロールをしてくれる姿を見て、元気をいっぱいもらったような気がします。今年もいい年になるようパトロールを続けていきたいと思



# 30周年記念行事詳細

実行委員会副委員長 島田 宗彦

記念行事は、スローガン

「世代超え 気持ち繋がる  
ふるさとへ」の下に実施する  
例年の行事とは異なる30周  
年の特別企画です。

すべての会員、近隣地域の  
方々が何らかの形でご参加い  
ただける様、式典「記念誌」

ふるさと祭り」の3つの中  
心行事で構成します。高齢化  
に伴う労力の負担に配慮しつ  
つ予算を掛けないよう知恵を  
絞っています。

会員には移り住んで来られ  
た方のほか、ここで生まれ育  
った方も多くなりました。年  
齢構成、世代も幅広くなりま  
した。街は成熟し高齢化の影  
も感じます。30周年は街の完  
成と同時に次の世代への「曲  
がり角」でもあります。総て

の会員が一つになり、次代の  
ニュータウン、そして新白岡  
地域全体の在り方を考える時  
が来ました。この行事は、会  
員間、近隣地域との交流、相  
互理解そして意識共有を行う  
端緒となることを目指してい  
ます。

来年は新元号も発表されま  
す。今年をこの街が子供達の  
永遠のふるさととなる元年と  
捉え、記念行事に全員が協働、  
参加し、そして何よりも楽し  
むことができれば、30周年は  
単なる思い出ではなく、未来  
への道を創った記憶に残る年  
になるものと信じます。



## 記念式典

式典分科会

宇治田忠昭

自治会創立30周年記念式  
典は今年5月20日(日)の開  
催が決まり、過去30年を踏ま  
え未来に繋がることを目指し  
た記念事業の一つである式典  
の詳細実行計画を詰めている  
ところです。

式典では、市や近隣地区な  
どの代表、歴代自治会長を来  
賓としてお招きするとともに  
自治会に対して功績のあった  
団体に感謝状を贈る予定です。  
今回は式典だけでなく一寸  
した工夫を凝らしています。  
来場者には気の利いたプログ  
ラムを配布します。オープニ  
ングではニュータウン在住の  
方によるハンドベル演奏、式  
典後には当ニュータウン出身  
で金星探査機「あかつき」の  
金星周回軌道再投入を成功さ

せた立役者、JAXAの廣瀬  
史子様による 新白岡より宇  
宙へ」と題する講演、加えて  
篠津中学校吹奏楽部による演  
奏を予定しています。是非多  
くの方のご参加をお願いしま  
す。



## ふるさと祭り

祭り分科会

甲斐 庸夫

夏の盆踊りと冬の青空市を  
集約して11月11日に東小学  
校と駅前通り等を利用して  
ふるさと祭り」を実施する  
予定です。時間は午前10時か  
ら午後3時まで、のど自慢の  
カラオケやスタンプリー、  
吹奏楽演奏、鼓笛隊、ダンス、

体力測定、子供のための遊戯等々。老若男女、多くの方々の参加をめざしています。さらにフリーマーケット、農産物・各種展示物と飲食販売、芋煮会などを企画検討しています。

近隣との打ち合わせなど今後、綿密に詳細をつめていかなければなりません。初めての試みでもあり、会員皆さまの協力なしには実施できないと思います。今後ともよろしくお願ひします。

### 記念誌発行

記念誌分科会

伊藤 祐介

自治会創立30周年の一環として、記念誌の作成を進めています。

記念事業のスローガン

世代超え 気持ちに繋がる

ふるさとへ

にふさわしい内容となるよう、

各世代の皆様からのご協力で多数の記事や写真が寄せられております。ありがとうございます。ありがとうございました。

冊子完成後の配布形式につきましてもメンバーで協議を重ねており、ウェブサイトからのPDF配布に加え、皆様へのダイジェスト版の配布が可能かどうか、予算と内容を睨みつつ検討を進めております。

レイアウトなどはまだまだこれからですが、「30周年」を迎えるにあたり、何か次の世代へ伝えられるものがないかと話し合いを重ねるなかで練り上げた構想です。貴重な記録となるよう、より一層の努力をいたします。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



せだい こえ 世代超え  
 きもち つながる 気持ち繋がる  
 ふるさとへ ふるさとへ

♡ Happy 30th Anniversary ♡

2018年  
 ニュータウン自治会 30周年

みんなで創ろう！  
 記念誌

みんなで祝おう！  
 記念式典

盛りあがろう！  
 ふるさと祭り  
 11月11日実施

白岡ニュータウン自治会  
 30周年記念事業実行委員会

## 30周年関連企画

## 白岡ニュータウン開発秘話(第2回)

総合地所 所長 藤嶋 進さん

## 新白岡駅」誕生

白岡ニュータウン開発当時(83年)ニュータウンと白岡駅とはバス路線で結ぶ計画でした。今の道で言えば白岡駅西口から踏切を渡って山王クリニックからヤオコー前をおり中央通りから現在の駅前あたり、そして学園通り公園通りから白岡駅に戻るという循環バスの路線案でした。

もし新白岡駅がなく「バス便」であったならニュータウンは今日皆様とご縁があったでしょうか?そう思うと私はぞっ!」とする思いです。

高岩地区には昔から国鉄関係者が多く住んでおりました。その中に国鉄官僚から運輸事務次官を歴任された方もおら

れ、そんな関係からか当時の荒井宏町長(故人)に新駅誘致推進を願ひ出しました。町長も地元意見に賛同して本格的誘致運動が始まりました。

当時の国鉄は分割民営化が叫ばれ不採算路線・駅などの廃止が進んでいました。85年11月これに反対する中核派が国電多発ゲリラ事件起し終日麻痺状態になるなど揺れ動く中、新駅申請は受理されたものの先の見通しは立たちませんでした。しかし当社は、町長に随行して県を始め地元国会議員に実現を願うと共に、

当社独自にも国鉄本社や関係部署への日参を繰り返す日々が続きました。こうした中、86年7月の衆参同時選挙で

自民党が圧勝し翌87年4月国鉄の分割民営化が決まりました。JR東日本」がスタートしました。

これより前の86年10月の国労臨時大会から分裂の様相となり、組合員のJR再雇用が動き出し新体制の流れが当新駅認可へ大きく傾き実現へと進みました。だが認可された内容では駅舎計画が従来の「国鉄規定」から「JR規定」

で決めるなど迷走、何度もの協議の末の結論は私鉄規定が適用され、建設資金は全額地元負担が条件でした。当社はこれを甘受して87年2月26日新駅は実現されました。

もう一つの逸話、承認時の駅名は仮称「北白岡」で通常はそのまま駅名と思っていま

した。ところが、86年末の駅名発表の直前で「新白岡」に変更されたのです。北」より「新」の方が響き良い名称だがこの

急な改名には何故?と不審が募ったものです。総合地所が「鼻薬」を、とか町長があの人に頼んで上から鶴の一声」で決めた等々囁かれたこともあり、後付け理由としては「JR会社の門出の新駅なので変えた」とのこと、一応噂は消失しました。さて、真実は?情報開示はもう少し時間がかかりそうで・・・。

(つづく)



30周年関連企画

NASAからごんには

廣瀬史子さん



白岡ニュータウンの皆さま、明けましておめでとうございます。私は今、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の長期派遣研修生としてアメリカのNASAに1年間滞在し研究しています。JAXAには長期派遣研修制度というものがあり、毎年数名の職員が各々開拓してきた受入れ先で研修します。NASAと調整すること約1年半。ようやく実現しました。NASAは職員数も予算もJAXAの約10倍の組織です。私は、NASAはJAXAを巨大にしただけと想像していましたが、大きく異なりました。NASAのスピード感は凄いです。技術的検討を進めるスピード、間違いを正すスピードは日本の数

倍と感じます。但し、事務的検討は日本より遅し。私は現在NASAが検討中の木星ミッションの軌道設計を担当しているのですが、いつ打上げていつ惑星に到着するか、到着時は地球と交信出来る事などの制約を満たす軌道を提案します。NASAでは一つのミッション検討をまずは数か月で完了させます。数か月集中的に検討して次のミッション検討に移る。そして大量のミッション候補から多面的にベストなものを選定し、実際に宇宙に行くプロジェクトにします。一方、日本では最初から有力候補を複数に絞り、時間をかけて丁寧に検討します。どちらの手法が良いか甲乙つけがたいところです。



スペースシャトル「アトランティス」

しかし低予算で効果の高いミッションを実現するJAXAの効率の良さはNASAの同僚は非常に高く評価してくれており、そのお陰で今回の滞在が実現しました。NASAの凄さを実感しながら日本の誇りを胸に、今年も気を引き締めて邁進したいと思えます。

廣瀬史子さんの記念講演

5月20日（日）自治会創立30周年式典で 新白岡から宇宙へ〜私のふるさと白岡ニュータウン〜と題して記念講演を予定しています。

篠津中学校ご卒業、かつてご一家はニュータウンにお住まいでした。JAXAでは金星探査機「あかつき」の軌道投入に挑戦、数万通りという計算で見事成功に導いたことでもお馴染みです。

昨年、荻野吟子賞 嘉永4年熊谷生れ、日本初の女性医師（）を受賞されました。アメリカでの研修も春には終了予定です。

是非、記念式典にご出席いただき、廣瀬史子さんのお話にご期待ください！  
式典ではほかにハンドベル演奏や篠津中学校吹奏楽部の演奏なども予定しています。

## アメリカ駐在・シカゴ編

## 3丁目・Sさん

日本がバブル経済で膨らんでいた1987年、私はシカゴに赴任しました。それ迄の海外勤務は二度、イラクとクウェートでした。シカゴダウンタウンの開発プロジェクトオフィスの開発プロジェクトとなり、熱砂の中近東から先進国アメリカへ行けるといふ思いで心が弾みました。

ウインディーシティーと言われるシカゴには9月に着任しました。仕事と生活のセットアップで忙しくしていると冷たい風が吹き始め10月からコートを着込みました。冬は大変寒く、年明け1月初めに氷点下48℃を記録、警報が出て工事現場は閉鎖されて昼から帰宅となりました。その後氷点下30℃迄下がる事が何度もありました。寒さ厳しいシカゴですが中

西部の人の好きや春草花が一斉に芽吹き景色が一変する様子に喜びを実感しました。

半年後に日本から家族を呼びシカゴ郊外ウイルメットに移りました。ミシガン湖の西側、日本人駐在員も多く住む街で、中心レーク通りから小道が枝の様に並び、我が家はその小道に向かい合って10軒程並ぶ家の奥から二番目でした。家族が到着した翌日、向い家の子がクッキーを持ってきてくれました。我が家には長男6歳、長女5歳、次男生後4ヶ月の子供がおり、長男と同じくらいのジャックがブラウニーを持ってきてくれたのです。やがてジャックと長男、その隣のアンナと長女がお互いの家で遊ぶ様になりました。

ウイルメットに移って間も



レーク通り沿いの教会

なく春、木々も緑に包まれ、あたかも公園に住んでいる様に感じました。

学校では校長先生や担任の先生に歓迎されお世話になりました。小学校には日本人の子供は二人だけ、午後には外国人の生徒に母国語で補講をしてくれるクラスが有り、同じ地区にある日本人生徒が多い学校に集まり一緒に学びました。その補講も1年で卒業、現地校に馴染み、週末土曜日は日本人学校補習校で学びました。ペーパードライバーの

妻は子供たちの送り迎えで車の運転にすっかり慣れました。日本人駐在員家族からシカゴでの生活について色々教えて頂き、子供たちの友達も次第に増えました。

生活に慣れた2年半後にはハワイに移ることになり、親しかった近所の人たちが集まりお別れ会を開いてくれました。記念に「ウイルメットより」と刻まれた銀のプレートを頂きました。別れを惜しんで人々の目には暖かい涙も見られ、好い思い出が残りました。(つづく)

## 編集後記

新しき年の初めの初春の

今日降る雪のいや重しげ吉事よ

(家持)

北国・北陸は豪雪、白岡は快晴と思ったら大晦日ほんの少し雪がぱらつきましたが穏やかな元旦を迎えてうまい酒を味わえます。今年もよろしくお願ひします。(柿)